

教育長・福祉部長

条例は基本的

に国の基準に従い定めることとなり、できるだけ早い時期にその基準を満たすよう児童クラブと協議しなくてはならない。しかし、新たな基準を満たさないクラブが現時点で多く存在することから、児童クラブを利用している児童が急に利用できなくなるといことがないように、条例の制定や子ども・子育て支援事業計画を策定する中で、適切な対応を検討していききたい。また、空き教室等の利用については、現在公営の委託事業が中心となっており、民間団体の利用については、そうした点を整理し、いろいろな角度から検討していきたい。

問 来年度から始まる新制度に伴い、子育て分野の大改革が行われる。保育や子育てに関する条例を決めていくことになるが、どのようなスケジュールで行われるのか。条例案作成段階からの議会への報告と、昨年実施されたニーズ調査の結果を公表してはどうか。

福祉部長

現在、「足利市子ども・

子育て支援会議」において検討を進めている。9月の市議会定例会で条例の提案を行う予定だが、基本的な考え方や概要については、議会の理解をいただけるよう事前に機会を設けたいと考えている。また、ニーズ調査の結果については、十分な分析等を行い、最終的に「足利市子ども・子育て支援会議」の基礎資料として使う予定だが、公表等について

も検討していききたい。

問

足利市こども発達支援センターでは、近年入所児が増加し個別指導室が足らず、利用者から満足な療育が受けられないと不安の声がある。さらに駐車場も狭く危険であるため、施設整備費の補助金を活用し、同センターを別の場所に移転できないか。

福祉部長

施設整備に対する補助

金として、社会福祉施設等施設整備費補助金の対象施設になると思われるが、県内で予定されている障がい者施設などの整備全体の中で、その優先度から決定されることになるため、新設すれば必ず補助がもらえるというものではない。センターの移転については、運営主体である社会福祉法人足利市社会福祉協議会と協議し、さらに研究していききたい。



▲足利市こども発達支援センター (足利市民活動センター1階)



市民の健康と福祉を充実させ、地域経済の活性化を!



尾関 栄子 議員

問

足利市国民健康保険規則第29条に規定される医療費窓口負担の軽減制度を生かして、窓口負担分の助成を県に働きかけるとともに、黒字会計である本市としても柔軟な基準を設置し、低所得者も利用できるような制度にするべきではないか。

市長・生活環境部長

医療費窓口

負担の軽減制度については、国の基準をもとにしているため、基準の拡大は難しいと考えている。今後、県内各市と連携し、対応について考えていききたい。



問

本年4月から日光市が子供の医療費窓口負担の無料化を高校生まで広げた。また、償還払い方式ではあるが、大田原市、矢板市が高校生まで広げている。本市も医療費窓口負担の無料化の対象を拡大し、高校生まで広げるべきではないか。

福祉部長

平成25年度からこ

も医療費助成の窓口無料の対象を市単独で小学校就学前まで拡大した。さらに高校生まで拡大すると、市の財政負担や県の補助金の減額も伴うため、すぐに実施できる状況ではない。こども医療費の窓口無料化の拡大については、引き続き県の制度として実施してもらえよう要望していききたい。

問

中小企業者の要望の1つである店舗リフォーム助成制度を高崎市が実現している。本市で住宅リフォーム支援を実施した際、地元企業に仕事が回るなど助成額に対して約30倍の経済効果があったことから、店舗版のリフォーム支援を実施するべきではないか。

市長・産業観光部長

地元

の経済活性化のために、中小企業者への支援は大切であると感じている。今後、店舗リフォームの助成制度を実施する高崎市に状況等を確認し、検討していききたい。



議会用語解説

委員会 (しいんかい)

本会議に提案された議案や議会の運営などを、少人数の議員で専門的かつ能率的に審査・協議するために設けられた議会の内部組織です。常任委員会、特別委員会、議会運営委員会の3種類の委員会があります。

常任委員会 (じょうにんしいんかい)

常設の委員会のことです。足利市議会では、①総務企画防災常任委員会、②民生環境水道常任委員会、③教育経済建設常任委員会の3委員会があり、議員は1つの常任委員会に所属することになっています。

特別委員会 (とくべつしいんかい)

特定の問題を審査するために必要に応じて議会の議決により設置される委員会のことです。足利市議会では、当初予算の議案審査を行うための予算審査特別委員会、会計決算の審査を行うための決算審査特別委員会が例年設置されています。その他、本市の大きな財産である競馬場跡地の有効活用策を調査するための競馬場跡地活用調査特別委員会が現在設置されています。

議会運営委員会 (ぎかいうんえいしいんかい)

議会を円滑に運営するために、議会運営全般について協議し、意見などの調整を図るために設けられている常設の委員会です。足利市議会では各会派代表等6人の議員で構成されています。



常任委員会の審査から

職員の配偶者同行休業に関する条例の制定について(議案第39号)

問 本市職員が制度を利用する事例はどの程度見込んでいるのか。

答 グローバル化の中で海外勤務をする方も増えており、制度を利用する事例は増えていくと思う。

財産の取得について(議案第40号)

問 今回は四輪駆動車である災害対応特殊化学消防ポンプ自動車の導入であるが、小俣地区の山林火災を受けて、今後、四輪駆動車を増やす考えはあるのか。

答 小俣地区の山林火災を1つの教訓とし、導入について研究していきたい。

足利市火災予防条例の改正について(議案第41号)

問 足利花火大会は今年が100回目、非常に多くの人出が見込まれる。露店の数も増えると思うが、安全対策について聞きたい。

答 火災予防について指導するため、消防では花火打ち上げ前に露店商組合を査察し、打ち上げ中も警備を行う。

足利市営住宅条例の改正について(議案第42号)

問 市営住宅の入居率が低下する中、中橋ハイツだけではなく、ほかの市営住宅も同様に見直す必要があるのではないか。

答 市営住宅の家賃は公営住宅法等に基づき算定しているため、家賃の引き下げは国の法改正を待たなければできない。

問 中橋ハイツの入居率を上げるために、どのような方法でPRしていくのか。

答 広報「あしかがみ」やホームページでのPRに加え、中橋ハイツの指定管理者であるとちぎ県南不動産業協同組合の加盟業者へのPRと入居仲介の依頼を考えている。

工事請負契約について(議案第44号)

問 市道鹿島山下通り道路改良工事はアンダーパスの工事であり、先日、冠水した山川アンダーと同じ形態をとるが、安全性について聞きたい。

答 山川アンダーはポンプ操作室に水が入り、排水ポンプが作動しなくなったが、今回はポンプ操作室を地上に設置する。また、想定以上の雨量の場合には、早急に通行止めの措置を講じるなど、冠水事故が起こらないように万全を期していきたい。

精神障害者相談員の法制化を求める意見書採択に関する請願

審議結果 平成26年第2回市議会定例会に提出され、本会議において民生環境水道常任委員会に付託された当請願は、慎重な審査の結果、採択となった。

意見 障がい者の相談等を市民等に委託する障害者相談員制度については、身体障害者相談員及び知的障害者相談員は、法に規定されている。しかし、精神障害者相談員が法制化されていないのは、法の不備であると強く感じている。1日も早い法制化を要望して採択したい。